

2018年(平成30年)12月21日

## 能面をイメージした力強いデザイン 相鉄・JR直通線用新型車両「12000系」が到着 一足先に「羽沢横浜国大駅\*」付近を通り相鉄線へ

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱(本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之)では、来年春に導入予定の新型車両「12000系」(以下同車両)が、かしわ台車両センター(相鉄線 かしわ台駅構内)に到着しました。

同車両は、相鉄線沿線と新宿方面を結ぶ相鉄・JR直通線※1(2019年度下期開業予定)用の車両として導入するもので、「デザインブランドアッププロジェクト※2」の概念に基づいて製造。全6編成(60両)製造するうちの第1編成となります。

㈱総合車両製作所(本社・横浜市金沢区、社長・宮下直人)で製造された同車両は、創業101年目となる12月18日に工場を出発し、ディーゼル機関車にけん引され、相鉄・JR直通線用の列車が乗り入れるJR東海道貨物線を通り、「羽沢横浜国大駅\*」付近を通過。JR相模線、厚木操車場(神奈川県海老名市)を経由して、かしわ台車両センターに輸送され、相鉄線の仲間入りを果たしました。

今後は、お客さまに安全にご乗車いただけるよう、車両の整備や各種検査等を行い、来年春予定の運行開始に向けて準備を進めてまいります。

概要は、別紙のとおりです。



工場を出発した「12000系」

### 相鉄・JR直通線用 新型車両「12000系」の輸送概要



車両製造会社から相鉄線への輸送経路図（イメージ）



JR車両と並走する「12000系」

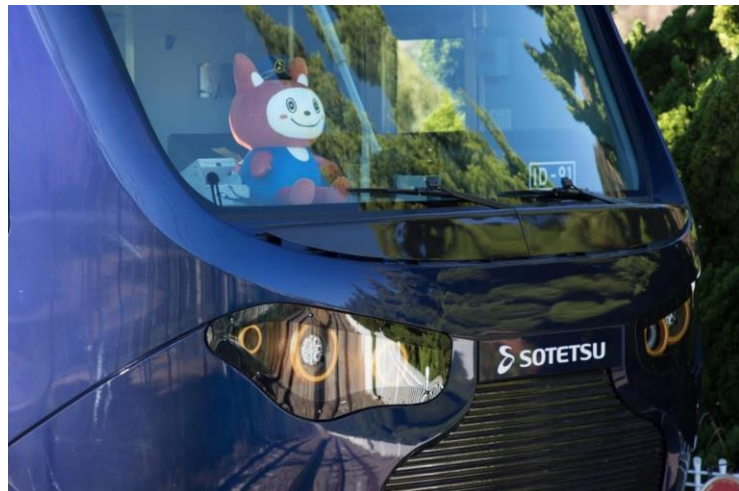


桜木町駅付近をけん引され通過

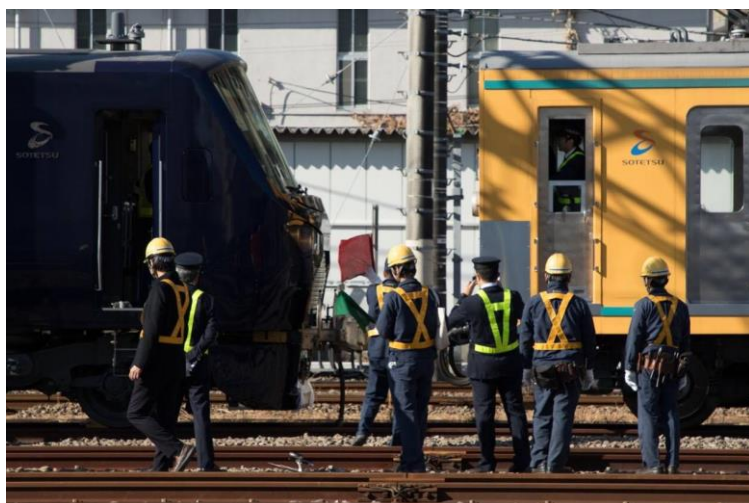




ディーゼル機関車でけん引



広報担当「そうにゃん」も乗車



事業用車「モヤ700系」に連結される「12000系」



羽沢横浜国大駅付近を通過



大山を背景に輸送される「12000系」



無事にかしわ台車両センターに到着

## 相鉄・JR直通線用新型車両「12000系」の概要

### 1. 営業運転開始

2019年春（予定）

### 2. 導入車両数

1編成（10両）（2019年度末までに全6編成（60両）を導入予定）

### 3. 開発コンセプト

安全×安心×エレガント ～目先のトレンドに左右されない「醸成するデザイン」～

### 4. 主な特徴（◎ 相鉄線初）

#### ①快適性の向上

- ・紫外線カット熱線吸収合わせガラスを採用
- ・「ユニバーサルデザインシート」を改良し先頭車以外の優先席、一般席に導入  
地元の高齢者の意見を取り入れ、立ち座りを容易にするため座席の高さを下げ、座り心地を損ねない範囲で座面を小さくしたシート。座席下部に大型の荷物が収納でき、荷棚が使いにくいお客さまでも安全にご利用いただけます。
- ・ベビーカー、車椅子用のフリースペースを全車両に設置
- ・「ナノイー\*」搭載の空気清浄機を導入
- ・「個別ドアスイッチ」を全てのドアに導入  
空調効果を高めるために始発駅等でお客さまによりドアを開閉することができます。
- ・座席端部の仕切り板の大型化  
座席端部に荷棚まで届く強化ガラス製の仕切り板を採用することで、ドア付近にお立ちのお客さまの荷物などによる着席しているお客さまへの干渉を緩和します。
- ・相鉄線の特徴でもある「車内の鏡」を設置
- ・時間帯で変化する調色調光式のLED照明を採用
- ・2016年度グッドデザイン賞を受賞した「つり革」を採用
- ・ロングシート座席は座り心地を改良し、ランダムパターンを施した汚れが目立たない生地を採用

#### ②車内への情報提供の強化

- ・ドア上に液晶式案内表示器（17インチ）を設置
- ・全車両でWi-Fiを提供 ※Wi-Fiをご利用になるには、通信事業者との契約が必要です。

#### ③環境への配慮

- ・11000系と同型のVVVFインバータ制御装置（IGBTタイプ）の採用や、室内灯、各種灯火類のLED化により消費電力を低減
- ・防音車輪の採用により騒音を低減

#### ④安全・安心のさらなる向上

- ◎前方監視カメラ、車内防犯カメラの設置
- ◎ホームドア設置駅で自動停車可能なTASC（タスク／定位置停止装置）に対応

#### ⑤相互直通運転への対応

- ・車両情報処理装置（TIMS）の共通化
- ・車両システムに会社間切り替え機能等を搭載

### 5. 車両製造会社

㈱総合車両製作所



## 6. デザイン設計

(株)PRODUCT DESIGN CENTER (代表 鈴木啓太氏)

\* 「ナノイー」は、パナソニック(株)の登録商標です。

### ※1 「相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線」(神奈川東部方面線)とは・・・

相鉄では、JR線と東急線との相互直通運転を予定しています。

相鉄・JR直通線(2019年度下期開業予定)は、相鉄線 西谷駅と羽沢横浜国大駅\*間に連絡線を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。相鉄・東急直通線(2022年度下期開業予定)は、羽沢横浜国大駅\*と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線を新設し、この連絡線を利用して相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。

この横浜市西部および神奈川県中央部と東京都心部とを直結する新たな路線の開業により広域鉄道ネットワークが形成され、所要時分の短縮や乗換回数の減少など、鉄道の利便性向上が図られるとともに、地域の活性化等に寄与します。新幹線へのアクセスの向上や相鉄線沿線等のさらなる発展にも貢献します。



神奈川東部方面線ウェブサイト (<http://www.chokutsusen.jp/>)

\*神奈川東部方面線(相鉄・JR直通線、相鉄・東急直通線)は、都市鉄道等利便増進法に基づき、(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構が整備を行っています。駅名については、整備主体である(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構と営業主体である相模鉄道および東急電鉄が、同法に基づく手続きを行ったうえで、正式に決定します。

### ※2 「デザインブランドアッププロジェクト」とは・・・

デザインの総合監修を「くまモン」の生みの親で、クリエイティブディレクターの水野学氏(グッドデザインカンパニー代表)、空間プロデューサーの洪恒夫氏(株)丹青社)に依頼し、お客さまとの最大の接点となる駅舎や車両、制服、商業施設等を統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す取り組み。コンセプトは、「これまでの100年を礎に、これからの100年を創る。Thinking of the next century.」としています。

公式ウェブサイト (<https://www.sotetsu.co.jp/design-pj/>)



神奈川東部方面線  
ウェブサイト



デザインブランドアッププロジェクト  
ウェブサイト

### ■水野学氏プロフィール

クリエイティブディレクター/クリエイティブコンサルタント/good design company 代表/  
慶應義塾大学特別招聘准教授

1972年 東京生まれ。

1996年 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。

1998年 good design company 設立。ブランドづくりの根本からロゴ、商品企画、  
パッケージ、インテリアデザイン、コンサルティングまで、トータルにディレクショ  
ンを行う。



### ■洪恒夫氏プロフィール

1960年 横浜生まれ。

1985年に丹青社入社以来、ミュージアム、テーマパーク、博覧会、展覧会等幅広い分野の施設デ  
ザイン、プロデュースを手がける。2002年より東京大学総合研究博物館教員を兼務（現職＝特任  
教授）。日本空間デザイン賞大賞、サインデザイン賞優秀賞、日本商空間デザイン賞金賞、グッドデ  
ザイン賞、ドイツデザイン賞など受賞多数。



### ■鈴木啓太氏プロフィール

プロダクトデザイナー/PRODUCT DESIGN CENTER 代表

1982年愛知県生まれ。多摩美術大学プロダクトデザイン専攻卒。

2012年デザインオフィス「PRODUCT DESIGN CENTER」ブランド「THE」設立。プロダクトデザイ  
ンを中心に、プランニングからエンジニアリングまでを統合的に行い、家電、モビリティ、家  
具、日用品、アートに至るまで、国内外でさまざまなプロジェクトを手掛けている。

2015年『サンテティエンヌ国際デザインビエンナーレ（フランス）』招待作家。

2016年「HUBLOT DESIGN PRIZE 2016（スイス）」ファイナリスト。

2016年よりグッドデザイン賞審査委員。

